

《クリスマスイヴ》(部分) 1989年



受贈記念

「高梁市・高梁市教育委員会主催」

# 富永直樹展

2021年10月5日(火) — 10月24日(日)

観覧  
無料

本展のみご覧になる場合は1F喫茶入口よりご入館ください。  
「江戸庶民の美 大津絵と浮世絵版画 - 幻の東海道五拾三次 -」  
および「成羽の植物化石」のご観覧は有料となります。

<休館日> 毎週月曜日 <開館時間> 9時30分~17時(入館は16時30分まで)

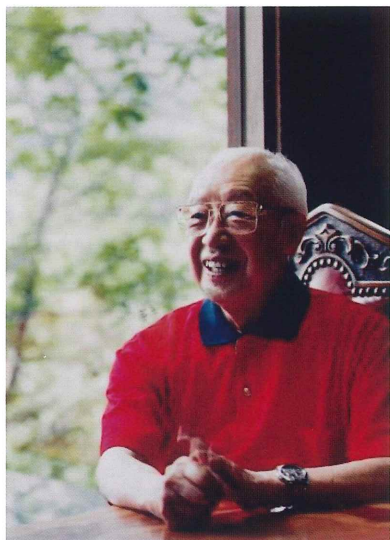
<協力> 公益財団法人 成羽町美術振興財団

会場 高梁市成羽美術館多目的展示室

高梁市では、2021年、文化勲章受章者である彫刻家 富永直樹氏のブロンズ彫刻をご寄贈いただく機会に恵まれました。これを記念し、高梁市成羽美術館にて寄贈作品全12点をご紹介します展覧会を開催いたします。

富永直樹氏（1913-2006）は、日展を主な舞台として作品を発表し、戦後の日本彫刻界を牽引した作家の一人です。長崎県に生まれ、児島虎次郎の甥である彫刻家 児島矩一（1896-1934）と同じく、東京美術学校（現 東京藝術大学）に進み北村西望の教室で学びました。1974年には日本芸術院会員に就任し、その後も、文化功労者顕彰、文化勲章を受章するなど、まさに日本を代表する彫刻家として高い評価を受けました。

氏による堅実な写実に基づいた人物像は気品に富み、静かな中にも確かな生命が息づいています。豊かなロマン薫る富永直樹氏の彫刻世界を、この機会にぜひご鑑賞ください。



撮影 相澤寛

## 富永直樹 Naoki TOMINAGA

- |             |                          |
|-------------|--------------------------|
| 1913年（大正2）  | 長崎市に生まれる。本名を富永良雄という。     |
| 1936年（昭和11） | 在学中に文展《F子の首》初入選。         |
| 1938年（昭和13） | 東京美術学校彫刻科塑造部卒業。          |
| 1940年（昭和15） | 東京美術学校彫刻科研究科修了。          |
| 1950年（昭和25） | 第6回日展《殊勲者》特選受賞。          |
| 1951年（昭和26） | 日展無鑑査出品。第7回日展《山》連続特選受賞。  |
| 1952年（昭和27） | 日展無鑑査出品。第8回日展《主将》連続特選受賞。 |
| 1968年（昭和43） | 第11回日展《平和の叫び》文部大臣賞受賞。    |
| 1972年（昭和47） | 改組第3回日展《新風》日本芸術院賞受賞。     |
| 1974年（昭和49） | 日本芸術院会員に就任。              |
| 1979年（昭和54） | 日展理事長に就任。                |
| 1984年（昭和59） | 文化功労者顕彰。                 |
| 1989年（平成元）  | 文化勲章受章。                  |



1.

### 同時開催「江戸庶民の美 大津絵と浮世絵版画 -幻の東海道五拾三次-」

幻の東海道五拾三次と言われた丸清版五拾三次55点と現地写真55点に加えて、近年新たに発見された画家 小糸源太郎日蔵の大津絵など35点を展示し、江戸庶民の美をご覧ください。

<会 期> 2021年9月11日(土) - 12月19日(日)

<観覧料> 一般・シニア1,000円 / 学生(小中高大生)500円 ※団体20名以上は2割引

※所蔵品展「成羽の植物化石」もあわせてご覧ください。



高梁市成羽美術館

N A R I W A M U S E U M

716-0111 岡山県高梁市成羽町下原1068-3

TEL 0866-42-4455 FAX 0866-42-4451

<https://nariwa-museum.or.jp/>

- 1.《天地への賛歌》1985年
- 2.《好日》1980年
- 3.《黒船で来た紅毛人》1976年

両面掲載写真はすべて長崎県美術館提供。写真の作品は長崎県美術館の所蔵品であり、受贈品はこれらと共通の原型をもとに鑄造された、言わば同一の作品です。なお、例えばロダンの《考える人》が世界中にいくつも存在するように、一つの原型から複数鑄造することは一定の管理下において認められています。



2.



3.